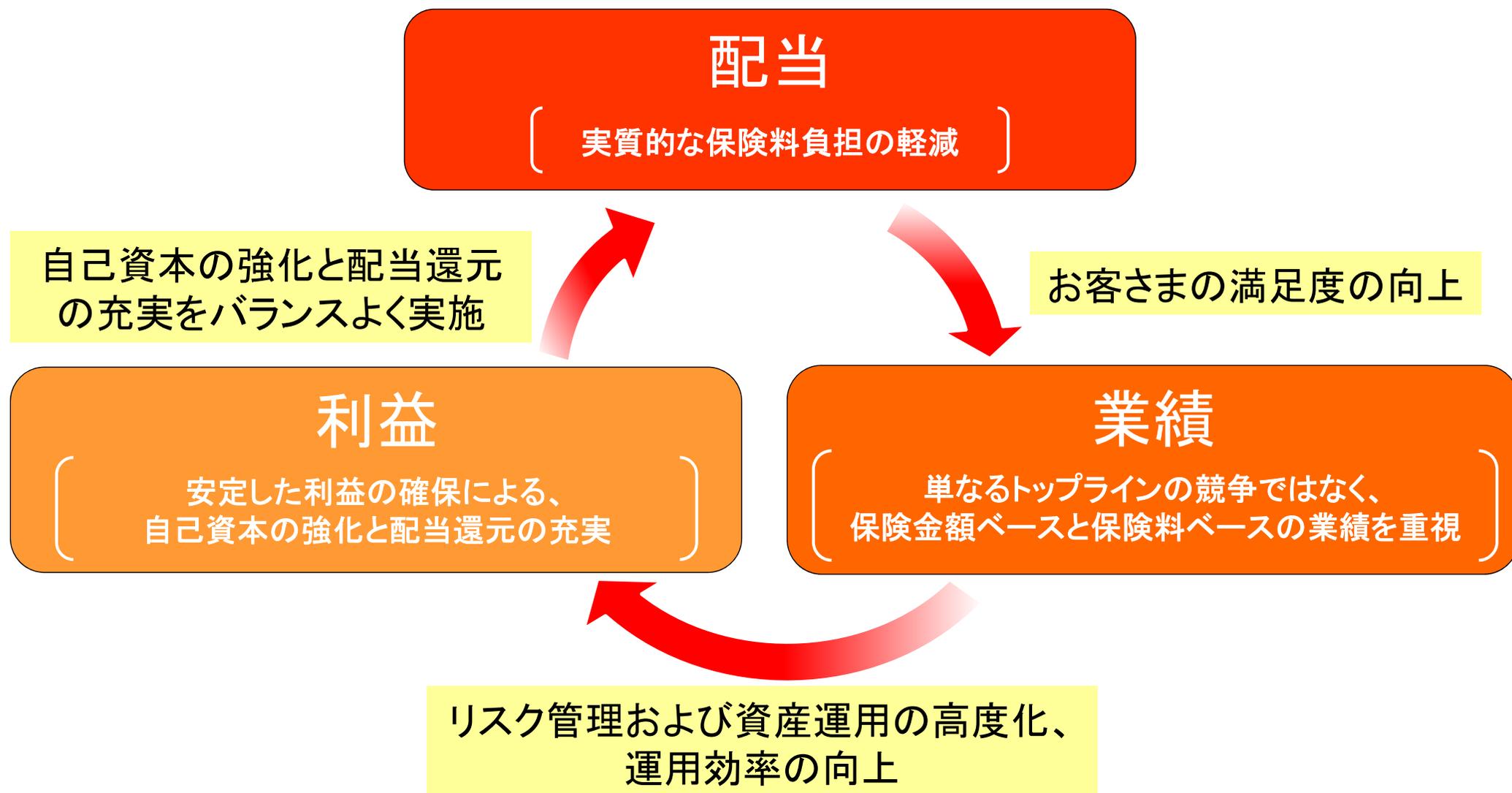


相互会社としての使命



安定した利益を確保し、配当還元の充実を通じてご契約者の実質的な保険料負担の軽減を図ることが相互会社としての使命であり、保険会社としていかなる時にも保険金等を確実にお支払いすることが最も重要な責務であると考え、実践しております。

新型コロナウイルス感染症への対応

コーポレートメッセージ(当社HP掲載)

ご契約者の皆さまへ

いま、私たちは、これまで経験したことのない不安を感じています。新型コロナウイルスは、私たちの知らないうちに身近なところまで広まっており、私たちの生活、仕事、学校、そして社会全体を脅かしています。さらに、私たちの最も大切なもの、つまり、私たち自身の健康や大切な家族の健康をも脅かそうとしています。

生命保険は、お客さまの一生にわたる、さらには世代を超えるお約束であり、終わりのない仕事です。いかなるときでも、保障を通じてお客さまにご安心をお届けする事業です。ご契約者本位という想いのもと、1923年に相互会社として創業した富国生命は、お客さまとその大切なご家族を最優先に考えてまいりました。大災害や経済環境の激変にも見舞われましたが、相互扶助の精神のもと、お客さまにお約束した保険金等を確実にお支払いするという揺るぎない信念を持って、しっかりとお客さまに寄り添い乗り越えてまいりました。

創業以来、相互会社形態を貫く富国生命は、株主がいいため、お客さまの利益を守ることを考え、過度な成長ではなく、お客さまを守るための成長を追求してきました。こうした企業としてのあり方が、信頼へとつながり、お客さまに安心していただくことができるものと考えます。

富国生命では、お客さまにご不便をおかけすることのないよう十分に留意しながら、職員の健康と安全を守るため、在宅勤務や国内外の出張の自粛、大規模な会議の休止などの対策を実施しております。お客さまにおかれましては、ご心配の点がございましたら、ご遠慮なく最寄りの支社やお客さまセンターにお問合わせください。新型コロナウイルスとの闘いは、長く辛いものになるかもしれませんが、決して孤独な闘いではありません。富国生命は、しっかりとお客さまに寄り添ってまいります。

富国生命保険相互会社
代表取締役社長

米山好映

当社の対応

基本原則

- ① お客さまおよび職員をはじめとする人の命を最優先に考えること
- ② われわれの事業活動により、感染者が増えていくことは絶対に回避すること

【営業活動における取組み】

- ・Face to FaceとIT活用の両立を推進、対面から非対面への置換えではなく、非接触のプロセスを組み込むことで、より進化した対面販売を目指す
- ・「学資保険」および「個人年金保険」については、お客さまと直接対面せず申し込みが可能となる非接触募集をスタート(9月より)

【保険契約の特別取扱い】

- ・新型コロナウイルス感染症を原因として死亡・高度障害状態に該当する場合、災害割増保険金、災害死亡給付金等をお支払い
- ・医療機関の事情等により入院できず、臨時施設や自宅等において入院と同等の療養を受けた場合は、その療養期間に関する医師の証明書等をもって、入院給付金等をお支払い
- ・保険料払込猶予期間の延長
- ・保険金・給付金、契約者貸付等の手続きの簡略化
- ・保険契約の更新について、更新期限を過ぎた場合でも柔軟に対応

【医療機関等への寄付】

- ・新型コロナウイルス感染症の対応に尽力されている医療機関および医療従事者の方々への支援を目的として、5,000万円を寄付

100周年に向けて

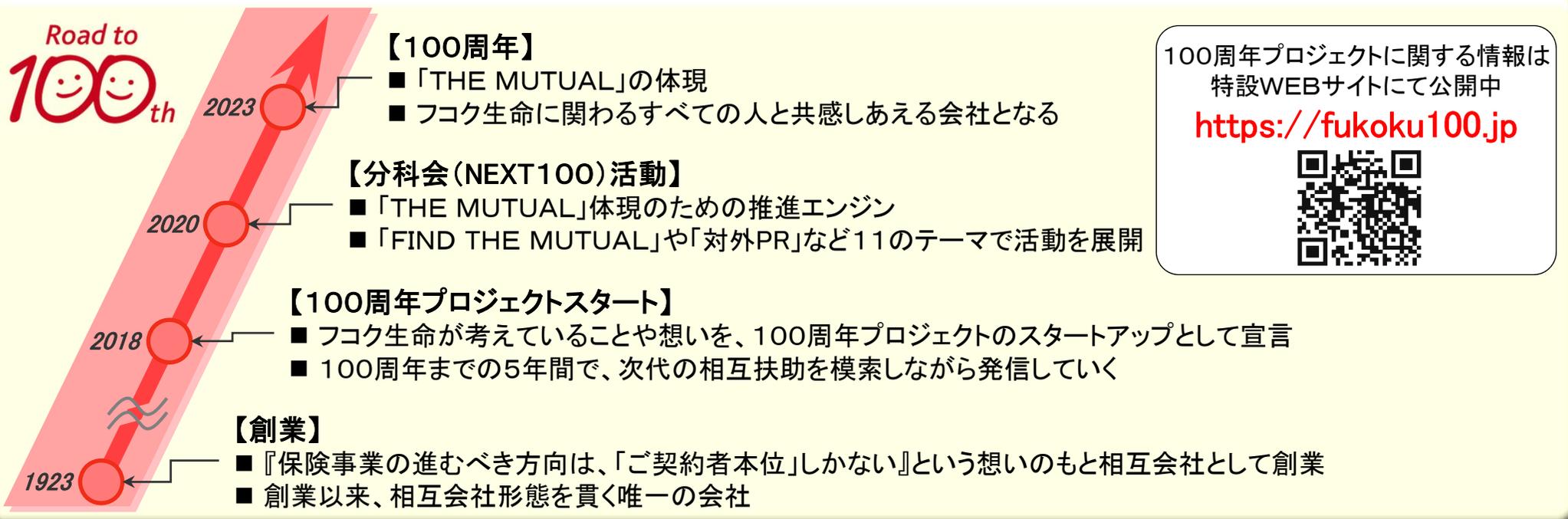
THE MUTUAL

次代の“相互扶助”を考える

「THE MUTUAL」(ザ・ミューチュアル)とは
共感・つながり・支えあいであり

次の100年に向け進化する次代の“相互扶助”のこと
そして、フコク生命に関わるすべての人のつながりを深め支えあい
真の“相互扶助”を体現する組織を目指す決意

【創業から100周年に向けて】



経営の差別化の歴史

自主独立路線のもと、経営の差別化を図る

保険販売・商品戦略

- 短期・長期の就業不能リスクに備えた就業不能保障特約『はたらくささえプラス』を発売【2020年度】
- 個人保険8年連続の増配【2019年度】
- 業界初の保障内容を盛り込んだ医療保険『医療大臣プレミアエイト』を発売【2016年度】
- 生保業界初となる特約組立型の主力商品『未来のとびら』を発売【2013年度】
- 他社に先駆けて就業不能保障特約『はたらくささえ』を発売【2011年度】
- 窓販チャネルを子会社(フコクしんらい生命)に分離【2008年度】
- 健康配当(入院給付金のお支払いがない医療保険契約に対する配当)の開始【2005年度】
- セコム損保との提携による生損保セット型商品の提供【2004年度】
- 金融機関窓販への反対論が多い中、将来を見据えて参入【2002年度】
- 自己責任原則が浸透していない中、「変額保険」は販売せずの方針
- 医療保険の提供による第三分野への注力【1983年度】
- 他社に先駆けて「保有純増主義」を打ち出す【1981年度】
- 継続率改善への取り組み
- 効率的な職域営業の取り組みを開始

■ 「お客さま基点」に向けた取組みを開始【2005年度】

■ 「お客さま基点」を価値観に位置付ける【2008年度】

■ 『「お客さま基点」の業務運営方針』公表【2017年度】

■ 徹底した差別化でお客さまから最も評価される会社へ

創業97周年

■ 自己資本の充実度に応じたリスクテイク戦略に変更

■ 円高局面で外国公社債を積み増し⇒収益性向上

■ 金融資本市場が混乱する中、リスク性資産を機動的に圧縮

■ 基金の証券化、ユーロ建劣後債発行等の資本調達積極化

■ 不透明な運用環境の中、流動性を重視し、国内公社債中心の運用ヘシフト

■ リスク性資産(不動産・株式)への投資を抑制

■ 本社ビルの建設【1980年】

■ 業界初の平準純保険料式責任準備金の積立【1961年度決算】

■ 高度経済成長の始まりにおいて、株式投資に積極的に取り組む

資産運用戦略

財務戦略

■ 経営理念:
ご契約者の利益擁護

■ 『最大たらんよりは最優たれ』

2020年度上半期報告のポイント

新契約高・新契約年換算保険料は減少

- ◆ コロナ禍により営業活動が制限されるなか、富国生命、フコクしんらい生命合算の新契約高は前年同期比16.6%減少、新契約年換算保険料は同26.7%減少
- ◆ 本年4月に発売した新商品「はたらくささえプラス」が好調に推移し、7月以降の新契約高は前年を上回る水準

解約・失効は大幅に改善

- ◆ 2社合算の解約・失効は、保険金額ベースで前年同期比24.0%減少、年換算保険料ベースで同23.8%減少
- ◆ コロナ禍における保険ニーズの高まりとアフターフォローの徹底により、大幅に改善

第三分野の保有契約年換算保険料は引き続き増加

- ◆ 2社合算の保有契約年換算保険料は減少したものの、第三分野については前年度末比0.2%増加と2003年度の開示以来プラス伸展を継続

基礎利益は減少

- ◆ 2社合算の基礎利益は、利差益が縮小したものの、保険関係損益が増加したことにより前年同期比5.3%減少と第1四半期(前年同期比25.4%減少)から改善

引き続き高い健全性を維持

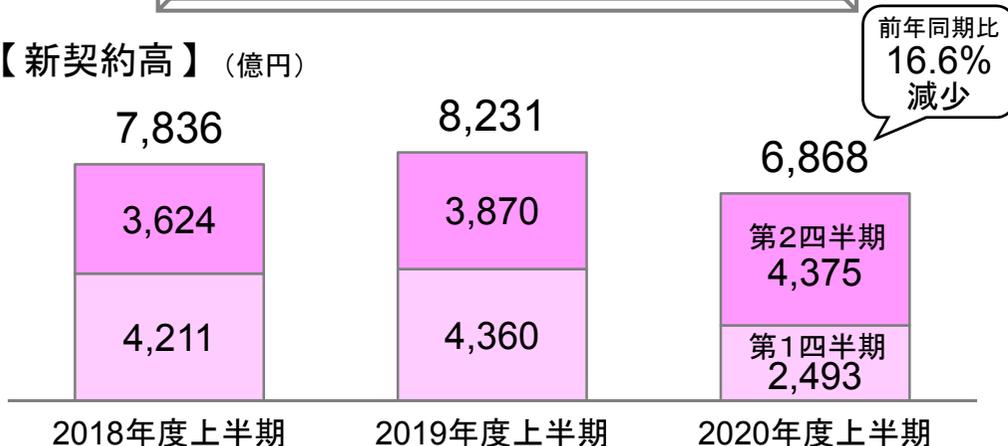
- ◆ 連結ソルベンシー・マージン比率は、前年度末比58.4ポイント低下の1,273.3%と引き続き高い水準を維持

保険業績の状況(2社合算) ～新契約・解約失効～

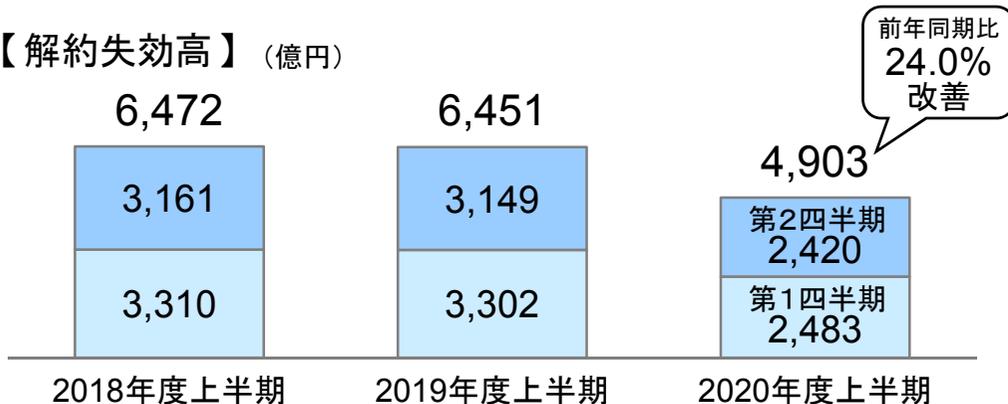
※個人保険と個人年金保険の合計

新契約高・解約失効高の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)

【新契約高】(億円)

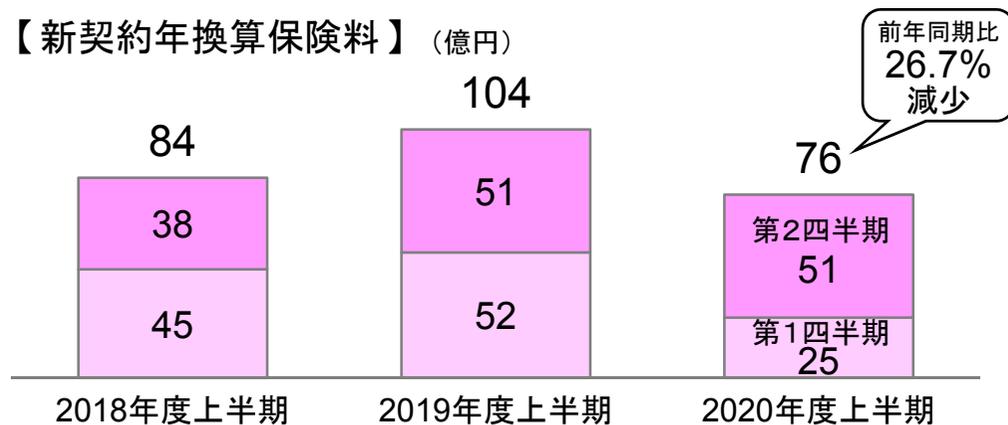


【解約失効高】(億円)

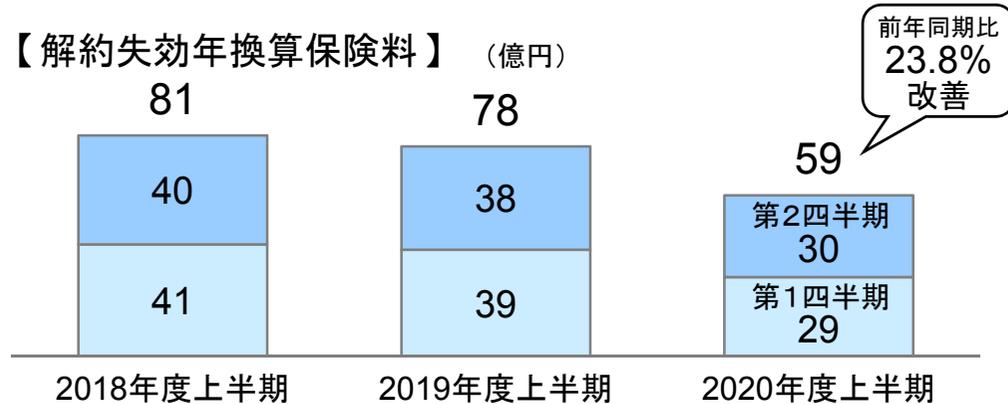


新契約・解約失効年換算保険料の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)

【新契約年換算保険料】(億円)



【解約失効年換算保険料】(億円)



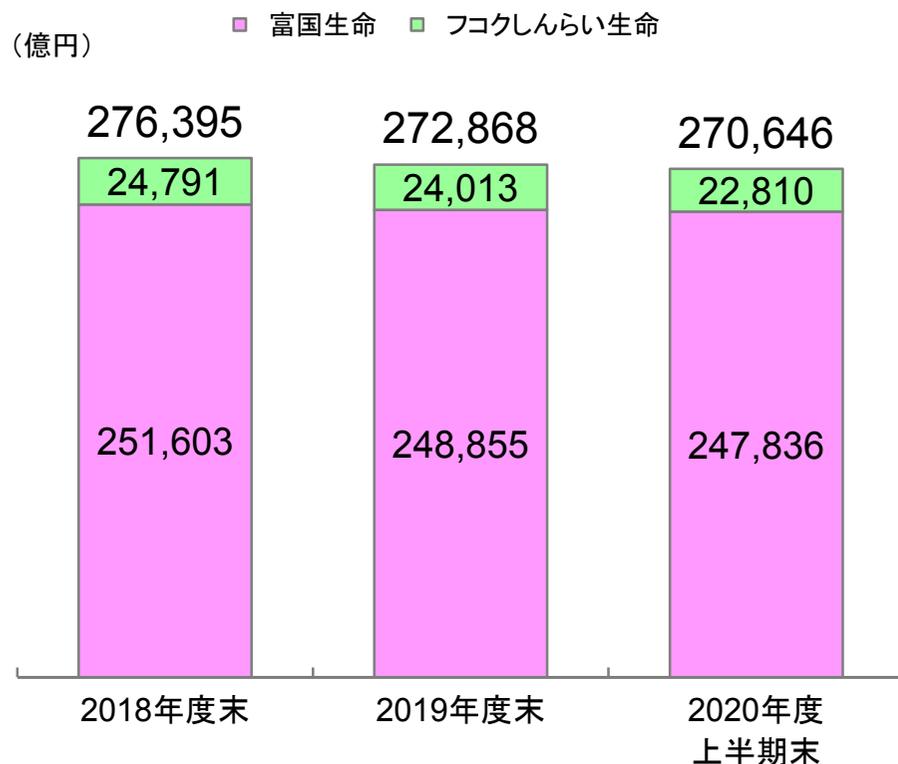
- 新契約高は第1四半期に大幅に減少したものの、7月以降は前年を上回る水準で推移
- 解約失効高はコロナ禍における保険ニーズの高まりとアフターフォローの徹底により、前年同期比24.0%減少と大幅に改善

- 新契約年換算保険料は前年同期比26.7%減少
- 解約失効年換算保険料は同23.8%減少と大幅に改善

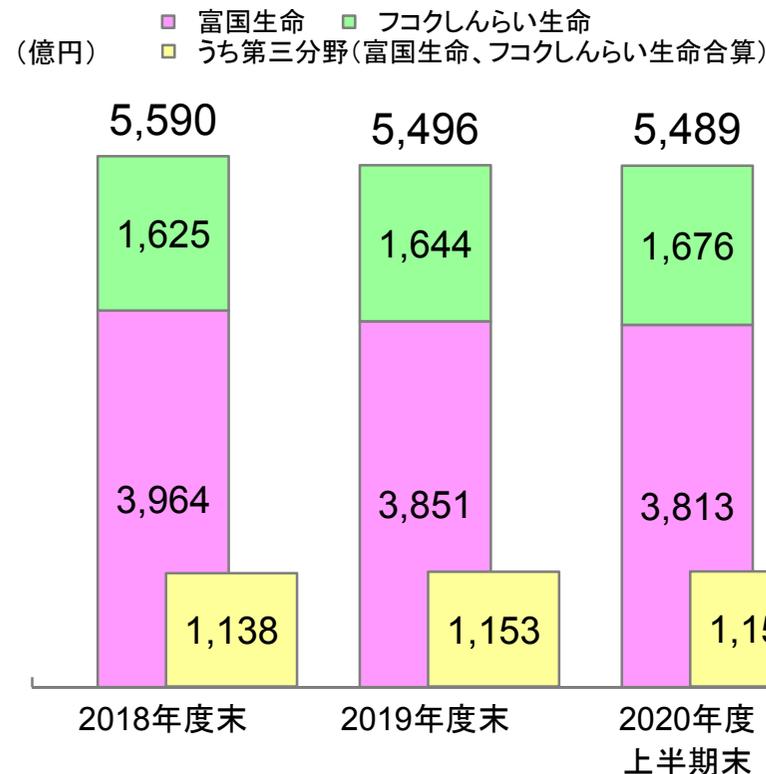
保険業績の状況(2社合算) ～保有契約～

※個人保険と個人年金保険の合計

保有契約高の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



保有契約年換算保険料の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)

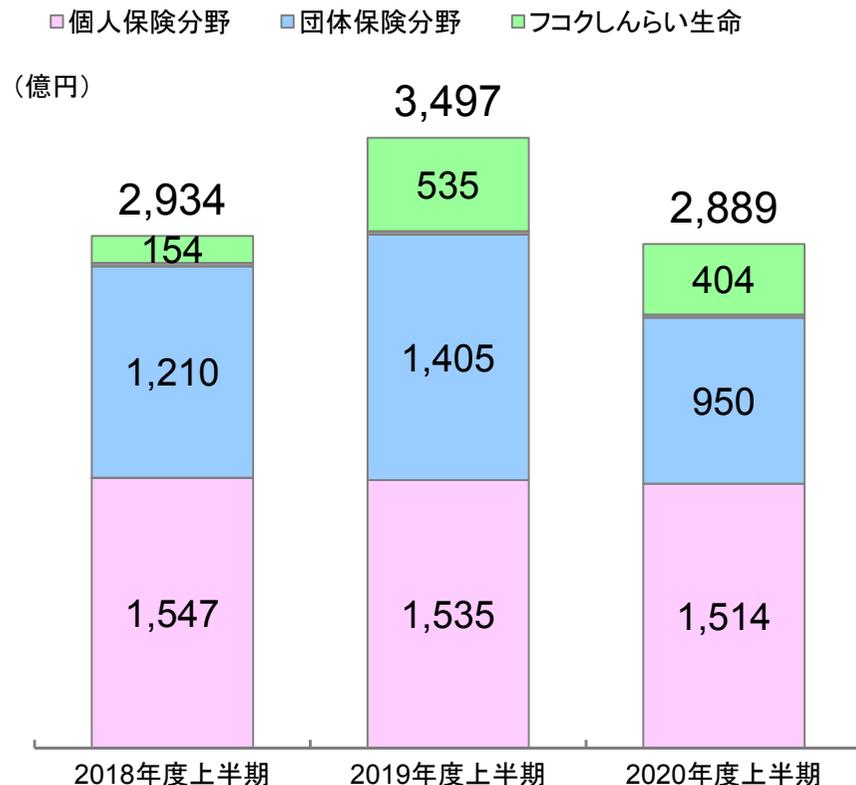


- 保有契約高は前年度末比0.8%減少
- 保有契約高の反転増加に向けて引き続き取り組む

- 保有契約年換算保険料は、前年度末比0.1%減少、うちフコクしんらい生命は同1.9%増加
- 第三分野の保有契約年換算保険料は、同0.2%増加

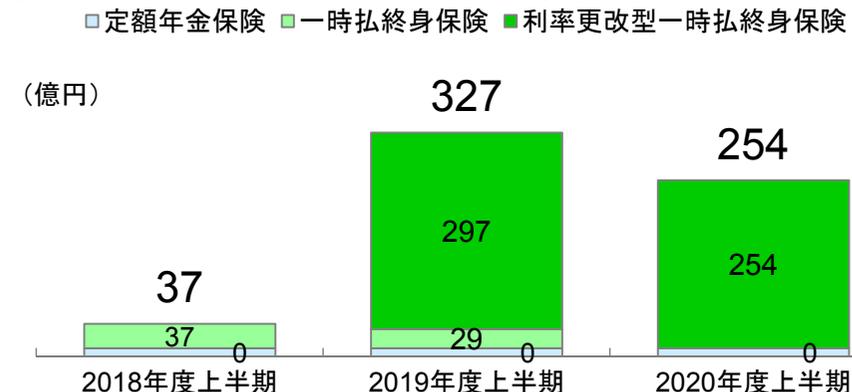
保険料等収入の状況(2社合算) ～保険料等収入・金融機関窓販～

保険料等収入の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)

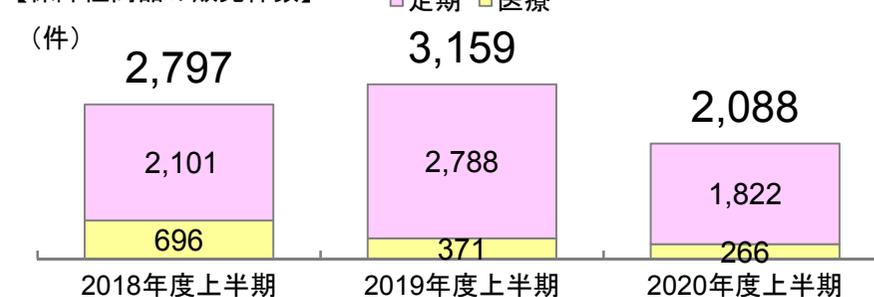


金融機関による保険販売の状況 (フコクしんらい生命)

【貯蓄性商品の販売実績(初回保険料ベース)】



【保障性商品の販売件数】

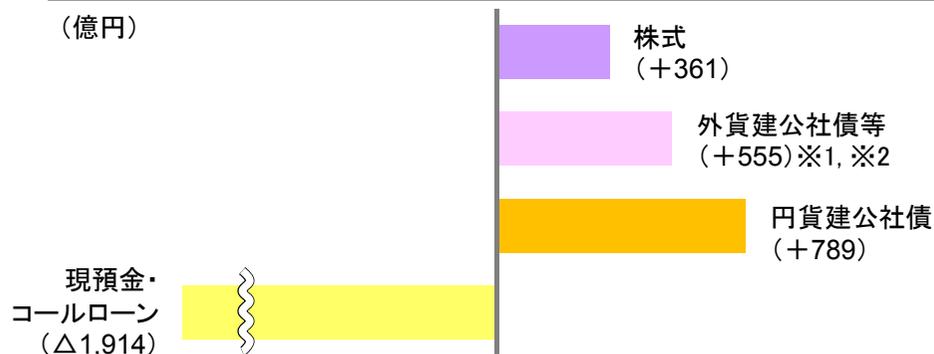


- 保険料等収入は前年同期比17.4%減少
- 富国生命は団体年金保険の減少、フコクしんらい生命は一時払終身保険の減少が主な要因

- 金融機関窓販もコロナ禍の影響を受けており、販売実績は前年同期比減少
- 8月以降、利率更改型一時払終身保険は前年を上回る水準で推移

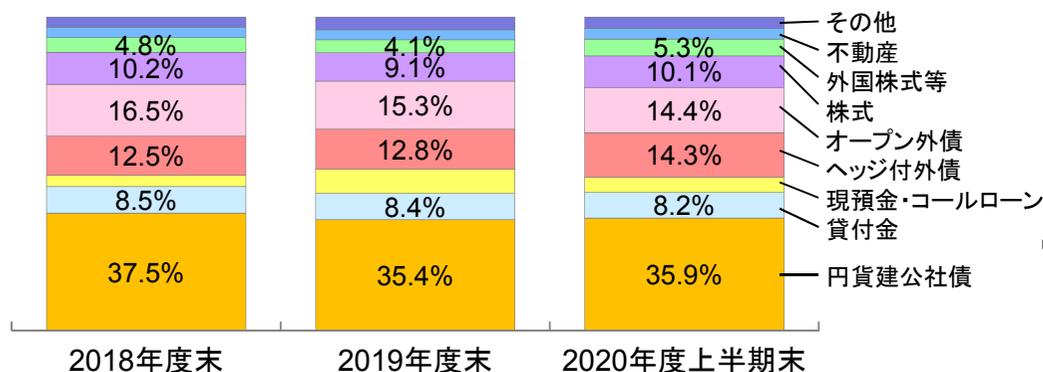
資産運用の状況(富国生命単体)

主な運用資産の帳簿価額残高の増減額

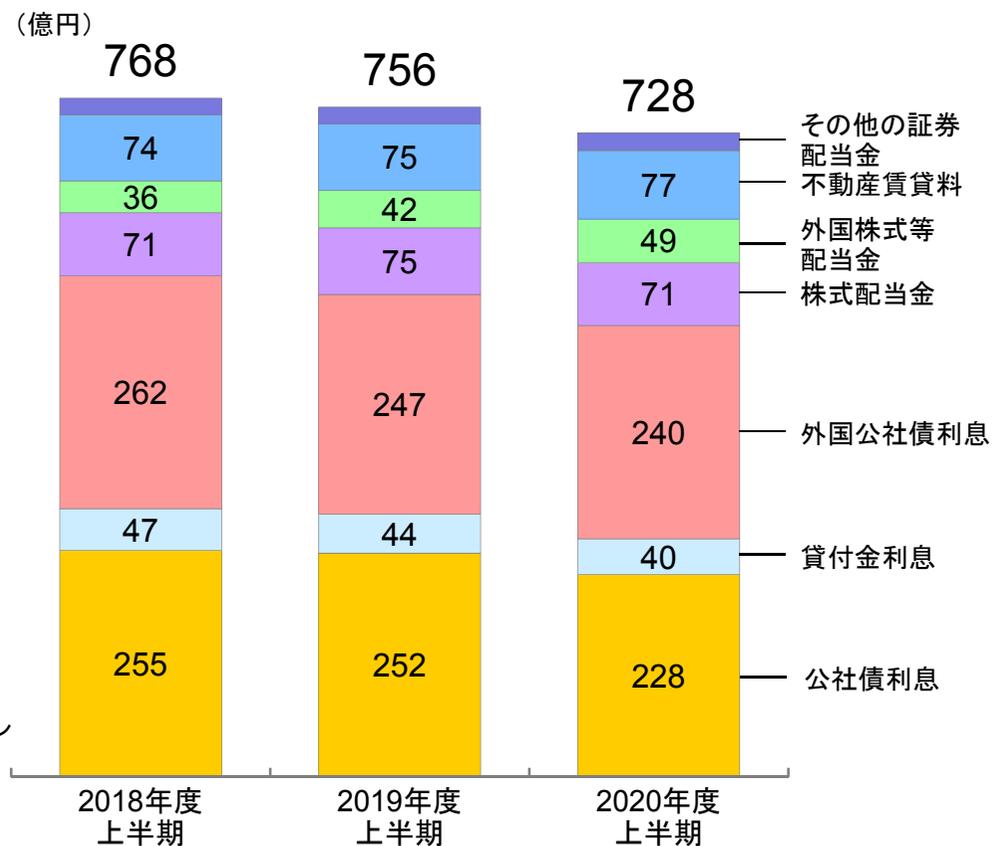


※1 損益計算書に計上した外貨建公社債の評価損益・為替換算損益を控除したもの
 ※2 外国債券を投資対象とする投資信託を含む

一般勘定資産の資産構成比(BSベース)



利息及び配当金等収入※の状況



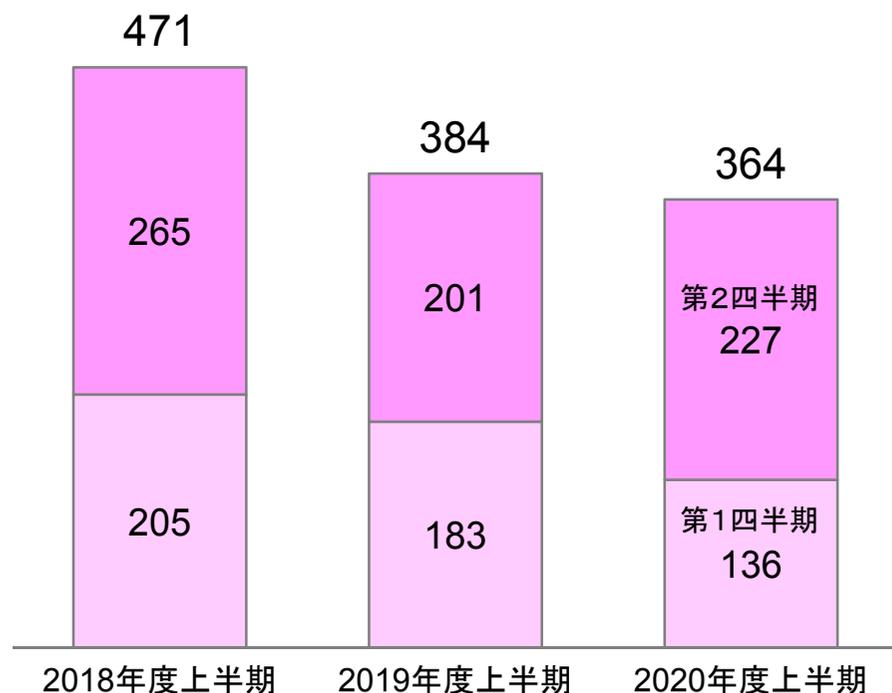
※売買目的有価証券運用益(損)に含まれる利息及び配当金等収入を含む

- 主要国の国債利回りが極めて低位で推移するなか、自己資本の充実度を踏まえた適切なリスクテイクにより収益性を維持するため、安定した配当が見込める株式や外貨建社債を選別して積増し
- 併せて、流動性に留意しつつ収益の上積みを図るため、金融資本市場の変動率が高まった前年度終盤に積み上げた短期資金の一部を国債に振向け
- 利息及び配当金等収入は、前年同期から減少したものの、700億円超の高水準を確保

基礎利益・経常利益の状況

基礎利益の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)

(億円)



- 基礎利益は、利差が縮小したものの、第三分野商品の給付金支払の減少により保険関係損益が増加し364億円
- 前年同期比5.3%減少と、第1四半期(前年同期比25.4%減少)から大きく改善

経常利益・中間純剰余の推移 (富国生命単体)

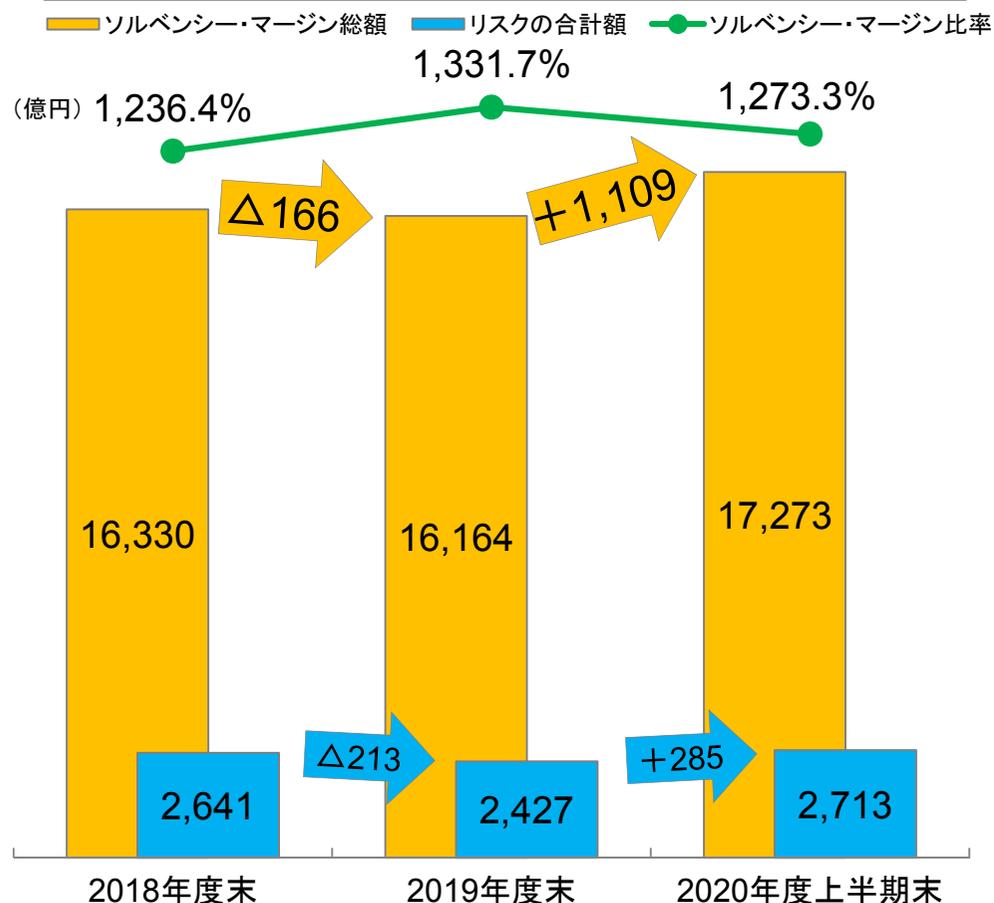
(単位:億円)

	2019年度 上半期	2020年度 上半期
基礎利益	386	370
保険関係損益	241	253
利差	144	117
キャピタル損益	52	△ 4
臨時損益	△ 45	△ 34
経常利益	392	331
中間純剰余	317	265

- キャピタル損益は、有価証券売却益の減少などにより、前年同期比56億円減少
- 経常利益は同15.6%減少の331億円

健全性の状況

ソルベンシー・マージン比率の推移(連結)



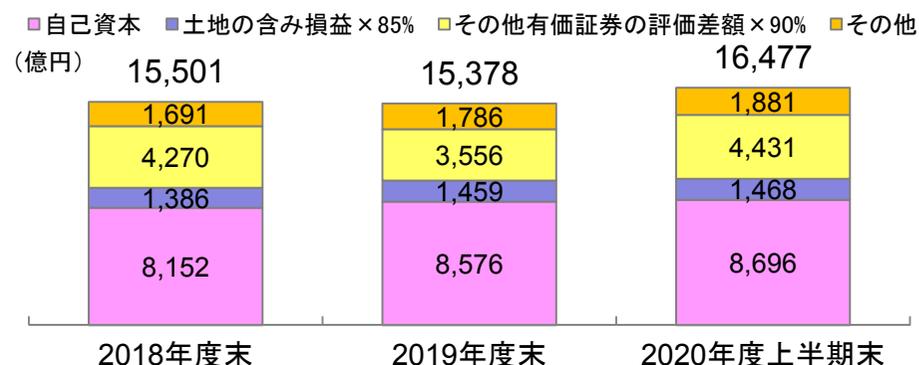
- 連結ソルベンシー・マージン比率は、前年度末比58.4ポイント低下したものの、1,273.3%と引き続き高い水準を維持

ソルベンシー・マージン比率の推移(単体)

■ソルベンシー・マージン比率

項目	2018年度末	2019年度末	2020年度上半期末
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,189.7%	1,290.8%	1,230.2%

■ソルベンシー・マージン総額(A)



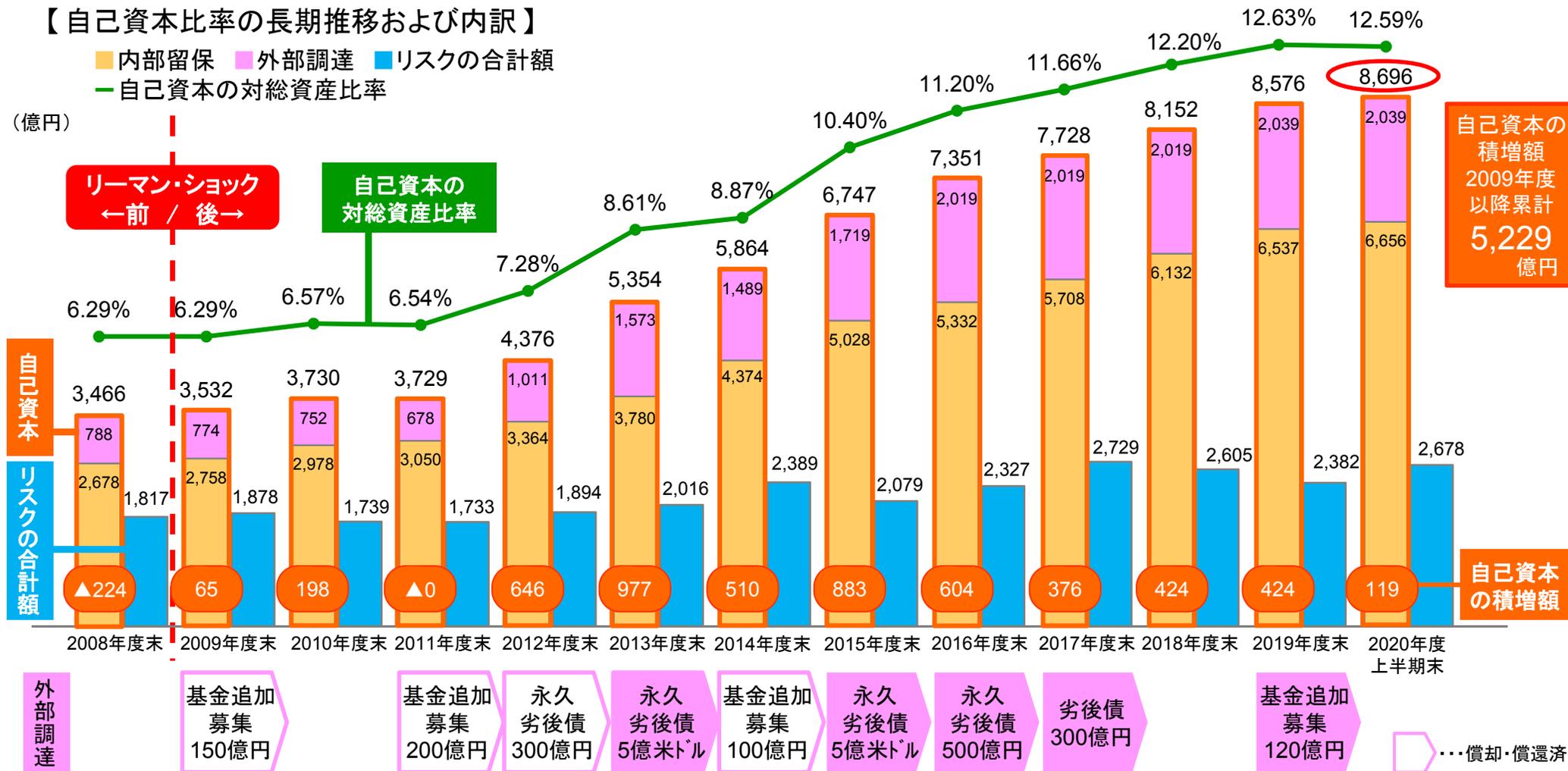
■リスクの合計額(B)



- マージン総額が有価証券の含み益の増加や内部留保の積増しなどにより増加する一方、リスクの合計額が株式の積増しなどにより増加し、ソルベンシー・マージン比率は前年度末比60.6ポイント低下の1,230.2%

オンバランスの自己資本強化と継続的なリスク・マネジメント(富国生命単体)

【自己資本比率の長期推移および内訳】



- 経常益による内部留保の積上げを第一義とし、適時、外部調達を行うことで自己資本を強化
- 2020年度上半期においては、内部留保により119億円積増し
- ERMを着実に進め、保険金等の確実な支払いと配当還元の充実を通じ、ご契約者に安心・満足を提供

【ご参考】主要業績(2社合算、富国生命、フコクしんらい生命)

(単位:億円)

	2018年度上半期	2019年度上半期		2020年度上半期	
			増減率		増減率
新契約高 ^(※)	7,836	8,231	5.0%	6,868	▲ 16.6%
富国生命	7,644	7,619	▲ 0.3%	6,438	▲ 15.5%
フコクしんらい生命	192	612	3.18倍	430	▲ 29.7%
新契約年換算保険料 ^(※)	84	104	24.5%	76	▲ 26.7%
富国生命	79	72	▲ 8.6%	53	▲ 25.8%
フコクしんらい生命	4	32	6.70倍	22	▲ 28.7%
保険料等収入	2,934	3,497	19.2%	2,889	▲ 17.4%
富国生命	2,779	2,961	6.5%	2,484	▲ 16.1%
フコクしんらい生命	154	535	3.47倍	404	▲ 24.4%
基礎利益	471	384	▲ 18.4%	364	▲ 5.3%
富国生命	471	386	▲ 18.0%	370	▲ 3.9%
保険関係損益	312	241	▲ 22.7%	253	4.9%
利差	158	144	▲ 8.9%	117	▲ 18.8%
フコクしんらい生命	▲ 0	▲ 1	—	▲ 6	—
	2018年度末	2019年度末		2020年度上半期末	
			増減率/pt		増減率/pt
保有契約高 ^(※)	276,395	272,868	▲ 1.3%	270,646	▲ 0.8%
富国生命	251,603	248,855	▲ 1.1%	247,836	▲ 0.4%
フコクしんらい生命	24,791	24,013	▲ 3.1%	22,810	▲ 5.0%
保有契約年換算保険料 ^(※)	5,590	5,496	▲ 1.7%	5,489	▲ 0.1%
富国生命	3,964	3,851	▲ 2.9%	3,813	▲ 1.0%
フコクしんらい生命	1,625	1,644	1.2%	1,676	1.9%
連結ソルベンシー・マージン比率	1,236.4%	1,331.7%	+ 95.3pt	1,273.3%	▲ 58.4pt
富国生命	1,189.7%	1,290.8%	+ 101.1pt	1,230.2%	▲ 60.6pt
フコクしんらい生命	978.1%	968.1%	▲ 10.0pt	1,053.4%	+ 85.3pt

※個人保険と個人年金保険の合計